

Red Hat OpenShift for IBM Power

概要

特長

- コンテナ・ホスト、Kubernetes、および選択したインフラストラクチャーを使用したアプリケーションのライフサイクル管理を含む統合プラットフォーム
- 幅広いパートナー・エコシステムから提供される、セキュリティを重視した検証済みコンテナ・コンテンツとサービス
- 低レイテンシーと高いパフォーマンスを実現する、IBM Powerのエンタープライズ・クラスのインフラストラクチャー
- オンプレミスとIBM Cloudに配置された、クラウド・インフラストラクチャーを効率的にスケーリング
- 実績のあるセキュリティと信頼性

企業は、新しいアプリケーションを開発しながら、既存のアプリケーションをモダナイズし、クラウドネイティブ・ジャーニーを加速させ、優れた顧客体験を提供するという課題に直面しています。開発者チームとIT運用チームは、オンプレミスからパブリック・クラウドまで、複数のインフラストラクチャーにおいてアプリケーションを開発し展開するために、柔軟性と俊敏性を必要としています。Red Hat® OpenShift® on IBM® Power®は、[IBM Power](#)におけるクラウド・ネイティブ開発向けの安全でレジリエントな基盤を通し、ハイブリッドクラウド全体に拡張性と追加のセキュリティにより、デジタル改革の加速を支援します。

Red Hat OpenShiftは、最新のハイブリッドクラウド・アプリケーション開発をサポートし、物理、仮想、プライベート、パブリッククラウドを問わず、あらゆる場所にあるアプリケーションに一貫した基盤を提供する、信頼性の高いKubernetesエンタープライズ・プラットフォームです。Red Hat OpenShiftとIBM Cloud® Paks on IBM Powerは、開発者がハイブリッドクラウド全体でクラウドネイティブ・アプリケーション構築、展開するために必要な整合性をもたらし、アプリケーションのモダナイゼーションを加速させます。

クラウドネイティブ・アプリケーションのモダナイズと構築

Red Hat OpenShiftは[アプリケーション・イノベーション](#)のための単一のプラットフォームで、フルスタックの自動運用と合理化した開発者ワークフローを活用し、あらゆるインフラストラクチャーで整合性の取れた運用を可能にし、チームが継続的にイノベーションを起こし、高まる顧客の期待に対応できるように支援します。Red Hat OpenShiftは、IBM Powerの信頼性、適応性、パフォーマンスの恩恵を受けながら、新しいクラウドネイティブのコンテナ化アプリケーションを構築するための信頼できるプラットフォームによって、企業がクラウドネイティブ・ジャーニーを加速させることを可能にします。さまざまなクラウド消費モデルに柔軟性と選択肢を提供するように設計されたIBM PowerのRed Hat OpenShiftは、ハイブリッドクラウド環境を構築するための継続性を向上させ、企業が現在に備え、また将来に向けて構築できるように支援します。

効率的なクラウド・インフラストラクチャーのスケーリング

企業が既存のアプリケーションをクラウドネイティブのアーキテクチャーへとモダナイズし、イノベーションとより良い顧客体験を提供する上で、スケーラビリティが重要な要素であることに変わりはありません。Red Hat OpenShiftは、アプリケーションを数百のノードにわたる数千のインスタンスに瞬時にスケーリングすることを可能とし、予測不能な需要に対応する力を提供します。さらにIBM Powerには、オンプレミスとオフプレミスのいずれの環境において、需要に応じてアプリケーションを拡大また縮小することができるよう、従量課金制の消費モデルが用意されています。また、AIX®、IBM i、Linux®環境上で動作する既存のVMベースのアプリケーションとクラウド・ネイティブ・アプリケーションを कोरोーションすることにより、アプリケーションとデータ間の低レイテンシー接続も可能になります。さらに仮想化機能が組み込まれているため、ユーザーはワーカー・ノードの仮想マシン（VM）に割り当てられているメモリとCPUを動的に追加または削除することも可能です。このサービスにより、企業はRed Hat OpenShiftとIBM Powerのスケーラビリティを活用し、需要に応じた優れた顧客体験を提供することができます。

「オンプレミスの
IBM Power Systems
とオフプレミスのクラウド
間で整合性を提供する
Red Hat OpenShift
を含む、ハードウェアと
Red Hatソフトウェアの新しい
アプライアンス的オプション
とともに、ハイブリッド
クラウド・クレジットを利用
できるようになることで、
新しいハイブリッドクラウド
・パラダイムへの参入
が容易になります。」

Jim Dixon氏、副社長
Software & IBM Power
Systems担当、Mainline
Information Systems社

実績のあるセキュリティと信頼性

Red Hat OpenShift on IBM Powerは、セキュリティと信頼性のために構築された堅固な基盤により、企業がアプリケーションをモダナイズすることを可能にします。IBM Powerは、重要なデータとアプリケーションへの中断のないアクセスを実現するLive Partition Mobilityをサポートし、チームがより安全にアプリケーションを開発しデプロイするために必要な自信を提供します。計算インフラストラクチャーは、予定外のダウンタイムを年間2分未満へと削減し、ITチームの生産性を向上すると共に、エンドユーザーと重要なビジネス・プロセスへの影響を低減します。Red Hat OpenShift on IBM Powerによりチームは、重要なワークロードに必要とされるセキュリティを備えたハイブリッドクラウド全体で、アプリケーションを開発し展開することができます。

インフラストラクチャーのコスト削減

Red Hat OpenShift on IBM Powerは、パフォーマンスに影響を与えることなく必要なサーバーの数を削減することで、インフラストラクチャーのコストを最適化します。チームは、共有プロセッサ・プールでビジー状態のワーカー・ノードにコアを動的に割り当てることにより、クラウド・インフラストラクチャーの使用を最大化することができます。コンテナ・アプリケーションは、AIXやIMB iデータとともにIBM Powerサーバー上にコロケーションすることも可能となり、サーバーの台数を減らし、中断のリスクを最小化できます。インフラストラクチャー活用が最適化されることで、企業は運用を簡素化し、コストを削減することができ、そのコストをコア・リソースへと割り当て、アプリケーション開発を加速させることができます。

Red Hat OpenShift on IBM Power Virtual Server

Red Hat OpenShiftは、企業がアジャイルなハイブリッドクラウドの構築する上で重要な役割を果たし、IBM Power Virtual Server上で、OpenShiftのプラットフォームに依存しないインストーラーを使用することができます。IBM Power Virtual Serverは、IBM Cloudに配置されたIBM Powerサーバーを中心に構築され、200以上のIBM CloudサービスにアクセスできるエンタープライズInfrastructure-as-a-Serviceです。さらに、IBM Power Virtual Serverのクライアントは、IBM PowerベースのクラウドにあるSAP HANAなどの主要なビジネス・アプリケーションを実行できるようになりました。

[Red Hat OpenShift](#)と[IBM Power Virtual Server](#)の詳細はこちらをご確認ください。

© Copyright IBM Corporation
2022

日本アイ・ピー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21

米国で制作
2022年10月

IBM、IBMのロゴ、Db2、IBM Powerは、米国および/またはその他の国におけるInternational Business Machines Corporationの商標または登録商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBMの最新商標リストについては、ibm.com/trademarkをご覧ください。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての製品が利用できるわけではありません。

本書の情報は「現状有姿」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとなります。IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

Copyright© 2020 Red Hat, Inc. Red HatおよびRed Hatのロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。Linux®は、米国およびその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

